

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	産業経済局観光部観光課 建設局公園緑地部公園管理課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	① 北九州市小倉城（しろテラス含む） ② 小倉城庭園 ③ 北九州市立勝山公園 ④ 北九州市立あさの汐風公園	施設類型	目的・機能
	所在地	① 北九州市小倉北区内2番1号 ② 北九州市小倉北区内1番2号 ③ 小倉北区内1番ほか ④ 小倉北区浅野三丁目3番から6番	I	— ①②③
	設置目的	① 歴史的な展示や体験施設を備え、祭り・諸行事の実施を通して、市民や観光客を誘致し、健全な憩いの場を提供する観光施設 ② 日本の伝統文化に関する展示等を通じ、市民や観光客に文化の薫り高い場を提供する観光施設 ③ 都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする。 ④ 主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図ることを目的とする。		
利用料金制		④ <input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ ①②③ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	TEAM城下町小倉共同事業体		
	所在地	小倉北区京町二丁目2番19号3階		
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務（案内業務、清掃業務、警備業務、施設保守業務、展示物保守業務） ・企画・営業業務、集客業務（イベント、企画展） ・広報宣伝業務、庶務・経理業務、データ管理業務など ・施設運營業務 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務（植物管理業務、施設管理業務） ・賑わいづくり業務
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		37
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。	35	4	28
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>【小倉城及び小倉城庭園】</p> <p>①② 令和4年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響が根強く残っており、小倉城及び小倉城庭園の入場者数は伸び悩んでいた。</p> <p>しかし、徐々に回復の兆しを見せ始め、北九州市が行った市民生活をレジャーやレクリエーションの面から支援するとともに市民の外出機会の創出による地域経済の活性化を目的に実施された「お出かけ応援プレミアムサマー」（7月1日から8月31日まで市内121施設の入場料等の無料化を実施）により、実施期間中はコロナ禍以前を大幅に上回る入場者数を確保できた。</p> <p>また、令和4年4月にオープンした「平和のまちミュージアム」が、市内の小学6年生を対象に実施した「平和のまちスタディツアー」の見学コースに小倉城が設定され、多くの小学生に来城いただいたことも入場者数増加の要因の一つである。（54校：3,613人）</p> <p>その後、令和4年10月に日本政府が入国数上限の撤廃や個人ツアーの解禁など新型コロナウイルス感染症の水際対策を大幅に緩和したことにより、インバウンドの外国人観光客が大幅に増加し始め、小倉城においては令和5年1月の外国人入場者数が全体の20.0%（全体13,684人、外国人観光客2,740人）、小倉城庭園は26.3%（全体5,405人、外国人観光客1,419人）にまで回復し、現在まで高い割合で推移している。</p> <p>イベントについては、「小倉城まつり」などの定例的なイベントに加え、4月の「桜さんぽ」、GW期間中の「SAMURAI WEEK」、水環境館との共催による「お濠カヌー」な</p>			

ど新たなイベントを創出した。

特に、例年入場者が減少する冬期の週末に「冬のライトアップ カラフルナイト」を長期的に開催したことにより、入場者数減少に歯止めをかけることが出来た。

また、従来のイベントについても、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた「小倉城まつり」の開会式の再開や「夏まつり」での盆踊りの復活、「桜まつり」の開催期間を大幅延長し、同時期に他団体が開催していた「小倉城まるしえ」と連携するなど、小倉城周辺の賑わいづくりに貢献した。

また、「小倉城まつり」に合わせ、新たに「小倉城武将隊」が設立され、本格的エンターテイメントの提供により、小倉城の魅力向上につながった。

上記のような様々な集客喚起策により、小倉城については、204,278 人の入場者数となり、目標値を上回ることが出来た。

小倉城庭園については、令和3年8月から令和4年3月まで休館し空調改修及び展示改修工事を行う予定だったが、「2021 世界体操・新体操選手権北九州大会」のおもてなしのため令和3年10月まで開館することになった。その結果、令和3年度中にリニューアルオープン準備期間を確保できなかったため、令和4年4月1日～21日の間、休館となった。

年間でも比較的に入場者数の多い4月の休館により、入場者数は79,593人となり、目標値である80,000人をわずかであるが下回った。ただし、休館期間を考慮した修正後の目標値(72,500人)は達成している。

- ③ 小倉城及び小倉城庭園については2施設共通券を発行するなど、観光施設として一体的に取り組んでいる。また、小倉城及び小倉城庭園が勝山公園内に設置されているため、小倉城及び小倉城庭園のイベントと勝山公園のイベントが相乗効果を生んでいる。

なお、あさの汐風公園とは地理的な要因から連携が難しく、今後積極的に取り組むべき課題である。令和5年度は「ボタニカルフラワーマーケット」をあさの汐風公園、勝山公園連携で実施する予定である。

- ④ 営業・広報活動については、小倉城公式ホームページやSNSにより情報を発信するとともに、大規模イベントについては、プレスリリースやポスター・チラシの作成及び関係部署への配布を行い、積極的な情報発信に努めた。

【小倉城入場者数】

(単位：人)

利用者数	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
要求水準	209,000	185,000
目標値	250,000	200,000
実績	【178,960】 117,199	204,278

※ ・・・評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館(計95日間)

【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR1年度実績に置換した入場者数

【小倉城庭園入場者数】 (単位：人)

利用者数	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
要求水準	23,000	70,000
目標値	31,000	(72,500) 80,000
実績	【44,836】 25,415	79,593

※ ・・・評価対象年度

※ () 内は、令和4年4月1日～21日の休館を考慮した目標値

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館(計95日間)

【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR1年度実績に置換した入場者数

※R3年度は空調改修工事等による休館(計146日)

【勝山公園及びあさの汐風公園】

①② 維持管理業務や施設運營業務については、管理区域ごとに管理基準を設定、年単位の管理行程計画を策定しており、計画どおりに適正に実施されている。計画の策定にあたっては、安全・防犯対策や事故防止に考慮した樹木の高さや植栽密度を決定するなど、それぞれの目的に沿った管理運営を行っており、北九州市のシンボル公園(勝山公園)及び小倉駅新幹線口の回遊拠点(あさの汐風公園)としての適切な維持管理水準を保っている。

グリーンエコハウス内には管理事務所を設置、公園全体の統括担当者を配置し、管理運営を行った。また、グリーンエコハウスに隣接する場所に作業用の倉庫を設置して、迅速な管理運営が行える体制を整えている。

植物管理業務については、専門的な技術を有する専従管理班を設置し、景観に配慮した剪定や利用状況に応じた除草を行うとともに、勝山公園で開催される大型イベント開催の際は、事前に草刈りを行うなど計画的に適正な管理作業を行なっている。

巡回清掃業務については、毎日継続的に行うことに加え、小倉城の堀に浮遊するごみ等の回収やイベント時のごみの清掃などに努めるとともに、雨季に備え排水溝を清掃するなど、季節やイベント等の開催状況にも応じて適宜実施している。

③ 小倉城、小倉城庭園を含む勝山公園一帯で集客イベントを行うなど、シンボル公園として賑わいづくりに積極的に取り組み、地域の活性化を図った。

④ 公式ホームページを開設し、施設情報やガイドマップ、公園利用におけるルール、イベント情報などを掲載するとともに、新聞社のWEB情報サイトを活用するなど、多くの市民へ積極的に情報発信を行い、公園の利用促進に努めている。

【勝山公園イベント開催率】

(単位：%)

R4年度													
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		80	80	75	60	75	75	80	75	60	40	75	75
実績	90	100	50	91	100	80	73	90	44	36	89	100	79

【参考】R3年度(更新前)													
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		80	65	75	75	70	80	100	80	70	50	56	70
実績	33	15	25	46	11	0	60	50	63	9	0	56	31

※ …… 評価対象年度

※R3年度は緊急事態宣言（5月12日～6月20日、8月20日～9月30日）及びまん延防止等重点措置（6月21日～7月11日、8月2日～8月19日 1月27日～3月6日）のため実績が低かったもの。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

15 3 9

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 施設に関するアンケート結果の「非常に満足」「満足」の合計値は、86.2%と目標値を上回っており、来場者の多くが満足していると考えられる。
また、アテンダントの対応について、83.9%と目標値にはわずかに達していないが、高い水準であり、概ね良い評価を得ていると思われる。
- ② アンケートで以前から要望が多かった小倉城庭園での「刀の企画展」について、令和5年秋の開催に向け準備中である。(過去に企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館などにより延期となっていたもの。)
また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた小倉城の「なりきり体験」(甲冑や着物を着て、武士やお姫様になりきる体験コーナー)について、再開を要望する意見が多くあり、令和5年夏までに再開する予定である。
- ③ 利用者からの苦情については、スタッフ間で共有を図るとともに、対応可能な苦情

については迅速に対応するとともに業務改善に役立てている。

- ④ 小倉城公式ホームページやSNSによりタイムリーな情報提供に加え、情報を発信するとともに、大規模イベントについては、チラシやポスターの掲示・配布により幅広く利用者へ情報提供を行っている。
- ⑤ 遠方からの入場者の取り込み及びサービス向上のため、開館時間の2時間延長を実施し利用者の満足度向上に繋がった。

また、スタッフのユニフォームを、城下町をイメージするもの（着物や忍者の装束など）に変更し、観光施設として賑わい・雰囲気づくりを実施し、来場者からは好評を得ている。

【利用者アンケート（施設に対する印象について）】（単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
目標値	90.0	85.0
実績	79.2	86.2

目標値：「非常に満足」、「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【利用者アンケート（アテンダントの対応について）】（単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
目標値	84.5	85.0
実績	84.9	83.9

目標値：「非常に満足」、「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 利用者アンケートの結果、公園全体の管理状況に関する満足度について、「満足・やや満足」が93.8%と利用者の満足度を非常に高く得られたと考える。一方、グリーンエコハウスについては、認知度が87.5%、居心地の良さについても「満足・やや満足」が94.6%となっており公園利用者にとって憩いの場として定着しつつある。
- ②③ 公式ホームページに意見箱を開設し、積極的に利用者からの意見等の収集に努めており、意見・要望・苦情等については、共同事業体の構成団体内で情報を共有しており、毎月の開催される会議で協議を行い可能な範囲で業務改善に努めた。
グリーンエコハウス周辺の屋外テーブルおよび椅子を増やしてほしいとの要望や、樹木名板が少なくなったとの意見に対し順次対応を行っているほか、意見等に関して市関係部署とも連携を図るなど、より良い施設になるよう努めた。
- ④ 公式ホームページで施設情報やガイドマップ、公園利用におけるルールを掲載するのみでなく、イベント情報など積極的に更新することにより、タイムリーな情報の発信を行っている。
- ⑤ グリーンエコハウスにおいて、スピーカーを設置しBGMを流すとともに、小倉イ

ルミネーション開催中は室内にクリスマスの装飾を施すなど、新たな憩いの場となるよう努めた。

【勝山公園・あさの汐風公園アンケート（公園の管理状況）】（単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
目標値	95.0	85.0
実績	91.9	93.8

※ …… 評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み 30 / 18

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	20	3	12
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 小倉城の指定管理料の予算額が大幅に増加しているのは、前指定管理期間（平成31年度～令和3年度）については、平成31年度の小倉城展示リニューアル効果による入場料収入増加を見込み指定管理料を算定していたが、令和4年度はリニューアル効果も薄まったため、リニューアル前の入場料収入の実績を基に算定したためである。
光熱水費については、令和4年度は全国的な電気代等の高騰があったものの、小倉城及び小倉城庭園の電力会社との契約プランにおいては大きな影響がなく、昨年度と同水準であった。なお、小倉城について前年度より増加しているのは、令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館があったためと思われる。
- ② 施設の維持・管理業務に係る再委託について、積極的に業者の見直し等を行い、経費の低減と効果的な維持管理が行われるように努めた。
- ③ 小倉城の総事業費が前年度と比較し増加しているのは、新規イベントの実施や、令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（95日）したことにより、総事業費が減少したためである。

【小倉城】 （単位：千円）

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	13,951	47,500
決算	54,481	60,016

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	105,350	147,384
決算	95,039	139,458

うち光熱水費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	7,000	6,900
決算	4,403	6,985
電気使用量 (kWh)	212,194	218,687
水道使用量 (m ³)	641	576

うち施設維持 管理経費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	19,300	19,635
決算	21,359	23,911

※ . . . 評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）

【小倉城庭園】

(単位：千円)

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	34,755	32,000
決算	42,369	33,134

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	40,779	71,350
決算	58,384	56,922

うち光熱水費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	2,000	3,080
決算	2,736	2,329
電気使用量 (kWh)	90,637	79,766
水道使用量 (m ³)	525	586

うち施設維持 管理経費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	9,300	16,475
決算	12,728	13,383

※ . . . 評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）

※R3年度は空調改修工事等による休館（計146日）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

① 電気に関しては、グリーンエコハウス内のエアコンについて空調の専門家に相談するなど効率的な稼働に努めるとともに、窓への遮光ロールカーテンの設置や戸外へのよしずの設置、打ち水を行うなど、室内の適正な温度調整を図った。また、事務所内は扇風機を使用するなど、全国的な電気代等高騰が影響する中、節電に努めた。

水道に関しては、巡回の際にトイレ等の漏水や蛇口の締め忘れが無いか点検を行い、漏水等の早期発見に努めることや、自動灌水装置の使用にあたっては、設定時間の変更や水圧の調整など細やかな対応を行った。

② 再委託先については、委託する業務内容に係る経験、技術力、緊急対応及び価格並びに経営・与信状況や法令順守等の経営体制を加味して市内事業者から選定を行っている。

③ 令和4年度は指定管理者の変更に伴い、園内の植物管理の状況を改善すべく、維持管理業務を重点的に努めたことにより事業費が増加した。また、迅速な管理運営が行えるよう、初期投資としてグリーンエコハウスに隣接した作業用の倉庫を設置した。

【勝山公園・あさの汐風公園】

（単位：千円）

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	58,431	48,000
決算	58,431	48,000

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度
予算	78,725	73,440
決算	74,489	76,095

※ ・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	10	3	6
-------------------------------------	----	---	---

[評価の理由、要員・原因分析]

【小倉城及び小倉城庭園】

① 令和4年度は、入場者数は目標値を超えたものの、入場料収入は目標値を下回った。この主な原因は、「お出かけ応援プレミアムサマー」の期間中の入場者について、過去の実績により入場料補填の上限額が決まっており、それを超える入場料が収益に繋がらなかったこと、また「平和のまちスタディツアー」で来場した小学生について、学校教育課程の一環による見学であり、入場料が10割減免であったことなどである。
(54校：3,613人)

なお、しろテラスのお土産販売収入（粗利）は、入場者数に比例し増加しており、特にインバウンドが本格的に再開された下半期において大きく売り上げを伸ばし、目標を達成した。

【小倉城】

(単位：千円)

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度
利用料金収入	予算	62,250	55,385
	決算	【46,618】 29,828	48,179
しろテラス 粗利	予算	7,800	9,486
	決算	2,335	10,861

※ ・・・評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）

【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR1年度実績に置換した入場者数

【小倉城庭園】

(単位：千円)

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度
利用料金収入	予算	8,489	20,656
	決算	【12,396】 7,616	17,985

※ ・・・評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）

【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR1年度実績に置換した入場者数

※R3年度は空調改修工事等による休館（計146日）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

① 多くの集客が見込めるイベント等を積極的に開催することで駐車場の利用増加を図るとともに、自主事業においては自動販売機の新たな設置場所の検討や購入してもらいやすい設置方法を工夫するなど収入の増加に取り組んでいる。

【勝山公園・あさの汐風公園】

(単位：千円)

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度
利用料金収入	予算	19,200	19,250
	決算	11,052	17,646
自主事業収入	予算	7,400	3,350
	決算	4,315	4,961

※R3年4月～R4年3月 市公共事業工事に伴い、駐車場1箇所閉鎖。

※ ・・・評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み	20		12
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	3	6
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
【小倉城及び小倉城庭園】			
① アテンダント・職員については、アンケート結果でも 80%以上が「非常に満足」、「満足」と高評価を得ており、利用者サービスの観点から適正な人員が配置されている。			
② 指定管理者交代時に、職員の資質・能力向上を図るため「おもてなし研修」や来場者からよく質問がある市内の主要観光施設に関する研修、インバウンドに向けた英語によるコミュニケーション研修などを実施した。 また、交代後も「おもてなし研修」や、各セクションのリーダー研修など開催している。			
③ 前指定管理者が 4 期 16 年に渡り小倉城及び小倉城庭園の指定管理を行っており、「小倉城まつり」や「菊まつり」などの事務局として、まつり実行委員会を組織している地域団体と信頼関係を築いていた。 指定管理者交代当初は、事務局としての役割や業務の進め方などに不慣れな面が多く、地域団体との調整に苦慮する面が多々見受けられたが、その後、様々な努力を行い、各まつりを開催したことにより、現在では良好な関係と見受けられる。 また、地元関係者による実行委員会が主催する「小倉城竹あかり」と時期を合わせた「小倉城菊花展」の開催や、門司港 GRANDMARKET を開催している「M. A. C 門司港アンティークカンパニー」と協同で「小倉キャッスル&パークマーケット」を開催するなど他の団体と連携したイベントを開催し、多くの来場者に来ていただいた。 小倉城庭園においても、前指定管理者に引き続き、呈茶業務の際は茶道協会から、文化講座の際も関係団体から講師の派遣を受けるなど、関係団体との連携が図られている。			
【勝山公園及びあさの汐風公園】			
① 当初の計画どおり、管理事務所に園長、副園長の 2 名を配置するほか、勝山専従管理班として技術スタッフ 7 名がローテーションで公園内の維持管理の作業を行うことにより、イベント後の清掃や大雨、強風による枝折れの撤去や側溝清掃等、緊急事案がより迅速に対応できる体制を構築した。			
② 管理事務所スタッフの資質、能力向上として関連するセミナーや研修を積極的に受講するとともに、専門家による接遇研修会へ参加して指導・教育を受けることにより公園利用者に対して適正に対応できるよう努めた。また、共同事業体の教育システムを活用した研修も行っている。 専従管理班の技術スタッフは、必要な資格取得に加え、重機の使用方法やメンテナ			

ンス、保守点検等について定期的に講習を行っており、技術の向上に努めている。

③ 市民企画花壇「うえるっちゃ！花壇」の運営において、月3回の活動日を設定しており、令和4年度は延べ476人の市民ボランティアが活動に参加した。
 (平成30年度443人、令和元年度425人、令和2年度368人、令和3年度476人)
 小・中学校の夏休み期間にはグリーンエコハウス前でラジオ体操を実施し、延べ580人が参加したほか、就労継続支援B型事業所「オンリーワン相生」との共同企画として、ごみ拾いや清掃、草刈り等の活動を月2回定期的に行い社会貢献への取り組みを図っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

- ① アンケート用紙等の個人情報については、保管する必要がないものは業務終了後速やかにシュレッダー処理を行ったり、保管が必要なものは、施錠して保管したりするなどの適正な方法で管理されている。
- ② 施設の利用については、施設の管理運営要綱に即して適正に運営されている。
 安全対策については、職員が常に安全意識を持って、子ども連れや高齢者に注意するといった日常の事故防止対策を行うなど、適切に実施されている。
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、アルコール消毒の徹底とあわせ、施設内の不特定多数が触れる箇所(手すりなど)について、一定時間ごとに消毒を行うなど、必要な感染防止対策を行っている。
 また、車椅子や足が不自由な方々が小倉城に来られる際、天守閣までの急こう配を車で送迎ができるよう、受け入れ体制を整備している。
- ④ 収支の内容についてはモニタリングを行うことで、不適切な点がないことを確認している。
- ⑤⑥ 防犯、防災対策については、緊急連絡網及び緊急対応マニュアルが作成されている。
 日常の管理及び対策として防火・避難訓練を実施している。
 常に台風・気象情報等を把握するなどして、非常時への準備が適切にとられている。
- ⑦ 特に大きな事故及び災害等の発生はなかった。

【総合評価】

合計得点	67	評価ランク	C
【評価の理由】			
<p>令和4年度は、年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響が根強く残っており、小倉城及び小倉城庭園の入場者数は伸び悩んでいた。しかし、令和2・3年度のような新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館もなく、10月には「福岡コロナ警報」も解除され、インバウンドの本格的な再開などにより、ようやくコロナ禍以前の状態に戻りつつある。</p> <p>小倉城及び小倉城庭園の入場者数について、年度後半の追い込みや、「お出かけ応援プレミアムサマー」などの市の支援策の活用などにより目標値を達成（小倉城庭園については修正後の目標値）することができた。</p> <p>また、施設を通常どおり運営するとともに、「小倉城まつり」や「小倉城桜まつり」などの従来の定例的なイベントのみならず、「桜さんぽ」や「SAMURAI WEEK」、「お濠カヌー」「冬のライトアップ カラフルナイト」「小倉キャッスル&パークマーケット」など新たなイベント創出に積極的に取り組み、小倉城周辺並びに勝山公園・あさの汐風公園の賑わいづくりに寄与したことは高く評価できる。</p> <p>勝山公園・あさの汐風公園については本市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての施設の設置目的達成のため、グリーンエコハウス内に管理事務所を設置して、迅速な管理運営を実施することにより、適切な維持管理水準を保っている。</p> <p>賑わいづくり事業については、新たなイベントを企画・提案するなど積極的に取り組み、勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率は要求水準（40.0%）、目標値（70.8%）をともに大きく上回る78.6%であり、シンボル公園としての役割を十分に果たしていると考えられる。中でも、「カーブーツ」や「北九州パン祭り&キャッスルパーク」は多くの参加者が来園したイベントであり、中心市街地の活性化に大きく寄与したことは高く評価できる。また、大型イベントのみならず、社会参加を目的としたイベントを定期的開催するなど地域との連携、協働にも積極的に取り組んだ。</p> <p>適正な管理運営に関する取り組みについては、イベント開催時に事故等が発生しないよう実施範囲の明確化や監視員を適正に配置するなど安全対策に努めた。維持管理の作業についても労働安全衛生法を厳守し、安全対策を着実に実施するとともに、利用者が安全安心に公園利用できるよう努めた。</p> <p>シンボル公園としての適切な維持管理のほか、公園の賑わいを創出、市民の憩いや身近なレクリエーションの場として、子どもから大人まで楽しめる公園利用の促進が図られた。</p>			
【今後の対応】			
<p>引き続き小倉城及び小倉城庭園並びに勝山公園・あさの汐風公園の適切な施設管理を行うとともに、地元団体などの関係機関と連携を密にしながら、賑わいづくりのためのイベント開催を実施し、市内はもとより、市外、インバウンドの来場者の増加を図っていただきたい。</p>			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

適正に評価されている。

今後も、市と指定管理者と協同で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)